



◎波蘭は断じて亡びず

祖國の危機迫る報に

SEP 6

1939

悲壯な大使館

ボイランド

720.7812M
WR187.027

ボイランドは断じて滅びない、ボイランド
人の魂には獨立を尊重する生命の血が流れ
てゐる。六日朝芝區三田綱町のボイランド
大使館で在留波蘭新聞特派員ピスコール氏
はこう云つて悲壯な決意を示した
「たとへザイツスラの河が血に染められて
もワルシヤワの街が粉微塵になることが
あつてもボイランドは最後までドイツに
對抗し必ずや勝利を獲得するであらう」
ピスコール氏は大使に代つて言々火を吐く
熱情で語つた。眞實はボイランドの地圖を
指して語るピスコール氏（中央）